

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474(直通) ホームページ <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

平成18年度予算を可決

予算特別委員会を設置し集中審査

一般会計予算2,055億3,192万円を可決

大田区議会は平成18年第1回定例会を2月23日から3月28日までの34日間の会期で開きました。

本会議第1日には区長の施政方針演説と教育委員会委員長の教育行政に関する所信表明があり、第2日には5名の議員が会派を代表して質問を行い、第3日には12名の議員が一般質問を行いました。

この定例会には、区長提出議案67件、報告3件、同意3件が提出され、議員提出議案として意見書1件、決議1件を提出しました。

このうち、平成18年度予算案については、予算特別委員会を設置し、実質8日間にわたり集中審査を行いました。

その結果、平成18年度予算、平成17年度補正予算をはじめ、小・中学校普通教室空調機械設備工事請負契約などの区長提出議案については、審議の結果すべて原案どおり可決しました。

また、議員提出議案の決議、意見書は、原案どおり可決しました。

請願・陳情は、関係委員会で慎重に審査した結果、採択8件、不採択9件となり、そのほかは継続審査となりました。

第1回定例会の内容

| | | |
|----|-----|----------|
| 2月 | 23日 | 本会議(第1日) |
| 3月 | 1日 | 本会議(第2日) |
| | 2日 | 本会議(第3日) |
| | 3日 | 常任委員会 |
| | 6日 | 常任委員会 |
| | 7日 | 議会運営委員会 |
| | 8日 | 特別委員会 |
| | 10日 | 本会議(第4日) |
| | 13日 | 常任委員会 |
| | 14日 | 予算特別委員会 |
| | 15日 | 本会議(第5日) |
| | 16日 | 本会議(第5日) |
| | 17日 | 本会議(第5日) |
| | 20日 | 本会議(第5日) |
| | 22日 | 本会議(第5日) |
| | 23日 | 本会議(第5日) |
| | 24日 | 本会議(第5日) |
| | 28日 | 本会議(第5日) |

第2回定例会の予定

| | | |
|----|-----|----------|
| 6月 | 8日 | 本会議(第1日) |
| | 9日 | 本会議(第2日) |
| | 12日 | 常任委員会 |
| | 13日 | 常任委員会 |
| | 14日 | 議会運営委員会 |
| | 15日 | 特別委員会 |
| | 19日 | 本会議(第3日) |

○請願・陳情の締め切りは、6月1日(木)の予定です。

ガス橋から多摩川下流を望む

議員の寄付は罰則をもって禁止されています。議員に寄付を求めることも禁止されています。

区政

を

き

く

代表質問

今後の大田区政の諸課題について

自由民主党大田区議員 区民連合 海老澤 信吉

＜都区財政調整＞

◎主要5課題に対する今回の合意をどう評価するか。

◎都区制度を柔軟に考えていくという姿勢で臨むことと合意した。一部に不満は残しながらも妥結すべき時期であったと考える。今後の都区のあり方は、都区共同で設置する検討組織で協議する。

＜18年度予算＞

◎積極的な予算を組んだと評価するが、編成にあたり、どのような施策に重点を置いたのか。

◎はばたきプログラムの実現を第一の目標として、区民満足度を向上させることを基本に編成した。

◎公共施設整備資金積立基金として30億円を積み立てた考えを伺う。

◎老朽化した施設の改修改築や大森駅周辺の整備、大田区体育館の建て替え等の課題解決のために積み立てた。

◎公債費の推移を伺う。また、発行額ほどの程度が適切と考えるか。

◎残債を少しでも減らそうと努力しており、来年度以降徐々に減少していくと考える。起債は予算額の5%

以内が理想的と考える。

＜耐震偽装問題＞

◎建築確認を行い、検査済証を発行したことについてどう考えるか。

◎居住者、近隣住民に対し申し訳ないと考えている。責任、対処策には十二分に意を用いる。建築確認制度は、当時、国の事務であり、国の責任は免れない。制度の抜本的な改革が望まれる。

◎建築主の責任に関し区はどう考えるか。

◎本来は建築主が瑕疵担保責任を負うが、履行される保証もない。法的に検討を行いながら、居住者、近隣住民の方々の安心を最大の眼目として取り組む。

◎再建に向けた公的支援についてどう考えるか。

◎国も支援対策を実施する必要があると考え、助成策を打ち出している。区も自治体の使命として支援を実施する。

＜羽田空港跡地＞

◎跡地利用の協議は現在どうなっているのか。

◎昨年末から、国と都と区の事務レベルでの協議が始まった。早急に跡地利用計画を取りまとめる必要があると考える。

◎利用計画の策定や開発に向けての取り組みを伺う。

◎利用計画の骨格である羽田の森、親水公園、親水護岸等について実現を強く主張していく。

◎オリンピック会場の候補地としての報道もあったが、どう考えるか。

◎今後の推移を注目していく必要があると考える。

＜京急連続立体交差＞

◎進捗よく状況を伺う。

◎17年度末に総事業費の31%を執行する。18年度も17年度予算の約1.6倍の事業を行う予定である。

＜蒲蒲線＞

◎オリンピックが整備の追い風になると考えるがいかがか。

◎大きく利用者増につながり、事業性の効果があると考ええる。

＜地域産業の活性化＞

◎ものづくり基盤技術こそ区内の中小企業の最も得意とする分野と考えるがいかがか。

◎区にはナノテクノロジーなど多様なものがそろっており、それらを継承していく土壌づくりのために、人材確保や育成支援、知的財産の確保等の課題に取り組んでいく。

◎中小企業の経営状況をどのように把握しているのか。

◎商業については必ずしも元気が出たと判断する材料はない。工業は二極化の方向が出てきているが、仕事量は増えている。

＜子どもの安全対策＞

◎これまでとってきた対策について伺う。

◎子ども、学校、保護者、地域、関係機関の各分野で実施しているが、子どもが自ら危険を守るためには、学級指導、防犯教室、防犯ブザーの配付等、様々な施策を実施した。

◎全小中学校の通用門にカメラ付きインターフォンとオートロックの設置が「開かれた学校づくり」に反すると考えるがいかがか。

◎学校教育の内容、方法を地域住民に説明し、透明性を確保することが「開かれた学校づくり」であり矛盾しない。

＜学校図書館の整備＞

◎蔵書整備の成果を伺う。

◎読書好きの子どもが増えている。18年度は調べ学習に重点を置いた蔵書を整備し、引き続き読書力の向上と図書を活用を図る。

◎区にはナノテクノロジーなど多様なものがそろっており、それらを継承していく土壌づくりのために、人材確保や育成支援、知的財産の確保等の課題に取り組んでいく。

◎中小企業の経営状況をどのように把握しているのか。

◎商業については必ずしも元気が出たと判断する材料はない。工業は二極化の方向が出てきているが、仕事量は増えている。

◎子ども、学校、保護者、地域、関係機関の各分野で実施しているが、子どもが自ら危険を守るためには、学級指導、防犯教室、防犯ブザーの配付等、様々な施策を実施した。

◎全小中学校の通用門にカメラ付きインターフォンとオートロックの設置が「開かれた学校づくり」に反すると考えるがいかがか。

◎学校教育の内容、方法を地域住民に説明し、透明性を確保することが「開かれた学校づくり」であり矛盾しない。

◎蔵書整備の成果を伺う。

◎読書好きの子どもが増えている。18年度は調べ学習に重点を置いた蔵書を整備し、引き続き読書力の向上と図書を活用を図る。



京急蒲田駅の連続立体交差事業情報コーナー



多摩堤保育園

区民のくらし福祉を守る区政に最大限努力を

日本共産党大田区議員 和田 正子

＜耐震偽装問題＞

◎あらためて、区民とグラウンドステージ池上の住民に謝罪し、要望に応える支援をすべきである。

◎ご心配ご不安をかけたことにおわびし、支援策を考え、早く再建をしたい。

◎再発防止のため、制度の改善を国に求め、区の建築審査体制を強化すべき。

◎制度改正が検討されており、区も必要な体制をとる。

＜平和な大田区のために＞

◎区民を戦争に協力させる「大田区国民保護計画」を作るのではなく「有事」に

◎「幼児の安全な環境を提供するため行政、警察、地域が安全体制を構築する」という項目を入れている。

◎冷房化による二酸化炭素の増加に対し、屋上緑化や壁面緑化を推進すべきだ。

◎18年度は中学校4校で屋上緑化、小学校3校で壁面緑化の予定である。

◎計画は先の大戦の経験を忘れず、安心、幸せ、自由を実現できるものを作る。

◎大企業には減税、国民には増税と負担増の構造改革を国民のくらし、福祉優先の政治に転換することが必要と考えるがいかがか。

◎少子高齢化に社会が向かうため、構造改革なくしては、福祉、くらしの問題に対応できない。

＜2006年度予算＞

◎増税、負担増の国政から区民を守る役割を果たすべき区が、障害者が負担する

である。

◎「幼児の安全な環境を提供するため行政、警察、地域が安全体制を構築する」という項目を入れている。

◎冷房化による二酸化炭素の増加に対し、屋上緑化や壁面緑化を推進すべきだ。

◎18年度は中学校4校で屋上緑化、小学校3校で壁面緑化の予定である。

利用料や保育料値上げなど、さらに負担を増やし区民に追い討ちをかけている。

⑧簡素で効率的な行政組織で負担の公平、受益者の適正化に取り組みむのは区民にとって満足度が高い行政の提供につながる。

⑨前年度比120億円余の増収のうち106億円を積立金にするが、保育料・介護保険料値上げ凍結や障害者の負担軽減の独自助成等より区民の声に応えた積極的な予算を組むべき。

⑩優先順位の高いものを選択するなど計画的な予算編成をしている。

⑪産業経済費を2倍、3倍に増やし、区内工業商業の振興施策を強化すべき。

⑫必要な経費は予算化している。

⑬区営住宅や高齢者シルバーピアの増設を。

⑭マスタープランに従い、供給を図る予定である。

⑮民間委託された保育園で職員が低賃金で働いている実態をどう考えるか。

⑯委託事業者が適正な賃金体系で雇用していると考えられている。

⑰はばたきプログラムの雇用創出で正規雇用は増えたのか。

⑱保育園等の民間委託は雇用の拡大になっている。

⑲「通勤バス」

⑳高齢化が進み交通空白・不便地域に「バスを通して」との声がある。アンケート調査とバス開通を要望する。

㉑アンケート調査は必ずしも需要を反映しない。区交通現況基礎調査からは事業性がなく、厳しい。

㉒臨海斎場への交通の便の改善を。

㉓運行本数も増やしているが、利用者が少ない。

㉔「往原病院公社化」

㉕公社化されるが、医療の質を下げない、サービスは後退させない、紹介状なしでも受診できる地域の病院であるよう要望を。

㉖以前と同様に安心して利用できるような責任を持った運営を院長に確認している。

㉗「大森赤十字病院」

㉘「まちづくり」

㉙「耐震偽装問題」

決まっているが、都と区の負担割合は明確になっていない。国の制度を十二分に活用しながら行う。

⑳区の負担については広く区民に理解をいただく努力も必要である。自治体の責任と今後の支援のあり方は。

㉑確認事務は国の機関委任事務として対処してきた。国の責任が極めて大きいと感じている。建物の除去、建て替え等については早期に進められるよう支援する。

㉒「子どもの安全対策」

㉓地域での取り組みが進んでいるが、学校と家庭、地域の連携に課題も多い。学校への指導について伺う。

㉔小学校単位の子ども安全ボランティア組織の構築を3月末までに全校で進めるよう指導している。

㉕「介護保険法改正」

㉖「在宅、施設に加わる新たな選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。」

㉗事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉘「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉙「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉚「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉛「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉜「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉝「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉞「AEDの整備」

㉟「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㊱「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㊲「使用方法、取り扱いについて」

㊳「食育の取り組み」

㊴「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㊵「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㊶「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

な選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。

⑳事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉑「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉒「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉓「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉔「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉕「AEDの整備」

㉖「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㉗「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㉘「使用方法、取り扱いについて」

㉙「食育の取り組み」

㉚「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㉛「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㉜「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

㉝「区民による行政評価の実施方法について」

㉞「区民による行政評価の実施方法について」

㉟「区民による行政評価の実施方法について」

㊱「区民による行政評価の実施方法について」

㊲「区民による行政評価の実施方法について」

㊳「区民による行政評価の実施方法について」

㊴「区民による行政評価の実施方法について」

㊵「区民による行政評価の実施方法について」

㊶「区民による行政評価の実施方法について」

な選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。

⑳事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉑「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉒「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉓「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉔「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉕「AEDの整備」

㉖「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㉗「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㉘「使用方法、取り扱いについて」

㉙「食育の取り組み」

㉚「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㉛「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㉜「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

㉝「区民による行政評価の実施方法について」

㉞「区民による行政評価の実施方法について」

㉟「区民による行政評価の実施方法について」

㊱「区民による行政評価の実施方法について」

㊲「区民による行政評価の実施方法について」

㊳「区民による行政評価の実施方法について」

㊴「区民による行政評価の実施方法について」

㊵「区民による行政評価の実施方法について」

㊶「区民による行政評価の実施方法について」

な選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。

⑳事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉑「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉒「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉓「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉔「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉕「AEDの整備」

㉖「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㉗「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㉘「使用方法、取り扱いについて」

㉙「食育の取り組み」

㉚「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㉛「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㉜「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

㉝「区民による行政評価の実施方法について」

㉞「区民による行政評価の実施方法について」

㉟「区民による行政評価の実施方法について」

㊱「区民による行政評価の実施方法について」

㊲「区民による行政評価の実施方法について」

㊳「区民による行政評価の実施方法について」

㊴「区民による行政評価の実施方法について」

㊵「区民による行政評価の実施方法について」

㊶「区民による行政評価の実施方法について」

な選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。

⑳事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉑「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉒「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉓「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉔「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉕「AEDの整備」

㉖「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㉗「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㉘「使用方法、取り扱いについて」

㉙「食育の取り組み」

㉚「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㉛「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㉜「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

㉝「区民による行政評価の実施方法について」

㉞「区民による行政評価の実施方法について」

㉟「区民による行政評価の実施方法について」

㊱「区民による行政評価の実施方法について」

㊲「区民による行政評価の実施方法について」

㊳「区民による行政評価の実施方法について」

㊴「区民による行政評価の実施方法について」

㊵「区民による行政評価の実施方法について」

㊶「区民による行政評価の実施方法について」

な選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。

⑳事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉑「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉒「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉓「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉔「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉕「AEDの整備」

㉖「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㉗「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㉘「使用方法、取り扱いについて」

㉙「食育の取り組み」

㉚「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㉛「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㉜「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

㉝「区民による行政評価の実施方法について」

㉞「区民による行政評価の実施方法について」

㉟「区民による行政評価の実施方法について」

㊱「区民による行政評価の実施方法について」

㊲「区民による行政評価の実施方法について」

㊳「区民による行政評価の実施方法について」

㊴「区民による行政評価の実施方法について」

㊵「区民による行政評価の実施方法について」

㊶「区民による行政評価の実施方法について」

な選択肢として、小規模多機能型居宅介護の整備拡充に期待している。区の検討状況を伺う。

⑳事業者の新規参入には、積極的に対応していくべきと考える。

㉑「介護予防サービスの導入にあたって行政の監視体制は整っているのか。」

㉒「地域包括支援センターの職員育成を進めていかなければならない。都区が行う研修などを通じて、適切なケアマネジメントが実施されるよう努める。」

㉓「区ができるメニューは何があるか。知らない商店も多く、PR方法の再考が必要では。」

㉔「経営改善や資金繰り等の相談業務。パソコン操作、カタログ作成、専門的ビジネスの元気について」

㉕「AEDの整備」

㉖「補正予算にAEDの設置が盛り込まれたが、区内の公共施設を全て網羅しているのか。また設置完了までのスケジュールを伺う。」

㉗「運動施設や入浴施設の有無、利用者の数や年齢層などに基づき、平成17年度中に171施設に174台を設置する。8歳未満又は体重25キロ未満の小児には使用できないため、幼稚園、保育園は除いた。」

㉘「使用方法、取り扱いについて」

㉙「食育の取り組み」

㉚「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

㉛「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

㉜「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

㉝「区民による行政評価の実施方法について」

㉞「区民による行政評価の実施方法について」

㉟「区民による行政評価の実施方法について」

㊱「区民による行政評価の実施方法について」

㊲「区民による行政評価の実施方法について」

㊳「区民による行政評価の実施方法について」

㊴「区民による行政評価の実施方法について」

㊵「区民による行政評価の実施方法について」

㊶「区民による行政評価の実施方法について」



往原病院



千鳥小学校



大森赤十字病院

一般質問

地域再生！活力ある明日のまちづくりを！

大森赤十字病院

①建て替え計画の状況と今後のスケジュールを伺う。

②平成18年2月に設計管理プロポーザルを開始したと報告を受けている。6月頃までに業者を決め、病院機能を残しながら建設を行い、平成23年3月に完成予定である。

③医師会と連携し、24時間小児救急外来を実現すべき。

④建て替え時にそのスペースが確保可能と考えている。

⑤「海と文化のかおるまち」のテーマにあった、緑さわやか元気タウンにしたい。

⑥基本計画策定業者の提案

⑦「高齢者福祉」

⑧「食育の取り組み」

⑨「美郷町、伊豆高原、館山、東御市など大田区と関係が深い地域と「食育協定」あるいは「食育ふるさと体験プロジェクト」などを提案したいかがかか。」

⑩「体験学習の一環で、休養あるのではないか。」

⑪「外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。」

⑫「区民による行政評価の実施方法について」

⑬「区民による行政評価の実施方法について」

⑭「区民による行政評価の実施方法について」

⑮「区民による行政評価の実施方法について」

⑯「区民による行政評価の実施方法について」

あるのではないか。

⑰外部監査制度や「おおたタウンデータ」の区民参加による指標の選択など、さまざまな手法を組み合わせて多角的に評価することで、より有効・適切な行政評価を実施する。

⑱「区内産業の発展」

⑲「区内産業の発展」

⑳「区内産業の発展」

㉑「区内産業の発展」

㉒「区内産業の発展」

㉓「区内産業の発展」

㉔「区内産業の発展」

㉕「区内産業の発展」

㉖「区内産業の発展」

㉗「区内産業の発展」

㉘「区内産業の発展」

㉙「区内産業の発展」

㉚「区内産業の発展」

㉛「区内産業の発展」

㉜「区内産業の発展」

などと連携を深め、理科好きの子どもを育てていく。

◎大田ブランド事業化を機に、基幹産業である製造業のみならず区内産業全体の活性化につながるよう、支援、協力を行うべきだ。

◎大田区の産業を広くPRし知名度を上げ信用力を高めることで市場拡大も見込めるため支援していく。

◎健康について、
◎新たに緑内障検診を行う。また、基本健診で65歳以上を対象に生活機能評価を検査項目に加え、実施期間も拡大する。さらに、肝炎ウイルス検診の未受診者に受診勧奨を行う。

◎交通バリアフリー
◎エスカレーター、エレベーター未設置駅舎の対策は、

◎鉄道事業者とともに用地確保の協力や地元調整など、実現に向け努力する。

◎五反田駅のように区の権限が及ばない事例に對しどう対応するのか。
◎鉄道事業者に改善をお願いした。五反田駅はエスカレーターとエレベーター設置予定で、18年度末工事着手に向け協議中である。



自由民主党大田区議団・区民連合 岸田 哲治

〔耐震助成〕

◎診断、改修の助成件数を増やす考えはあるか。

◎18年度は1千棟の診断助成を予定しているが、できる限り要望に添えていく。

◎耐震化の数値目標は、
◎18年度の実績を踏まえ、数値目標化を図る。

◎国は改修に足りない建物所有者への指導強化を図ると聞くが、区の考えを伺う。
◎改正法を踏まえ、危険な建物に対しては今まで以上に改善指導を進める。

◎広域避難場所
◎東京工業大学は大田区、品川区、目黒区の広域避難場所に指定されているが、3区での話し合いはあるか。

◎目黒区、品川区とは情報連絡訓練の実施など、日頃から協力関係にあり、情報交換をしている。共同の現地本部が設置された場合、相互に連携・協力して、運営ができるかと考える。

◎避難住民の費用負担はどうなっているのか。
◎自区の住民対応が基本だが、共同の現地本部が設置された場合、各区は協力して避難所運営にあたる。救済物資のやりとりも考えられ、費用は受け入れ側の負担となる。具体的な金額は事後に協議で決める。

◎東京工業大学には、水、食糧の備えがないが、区の対応はどうなるのか。
◎広域避難場所への避難は火災から身を守るためであ

り、救済物資の提供は原則として想定していない。



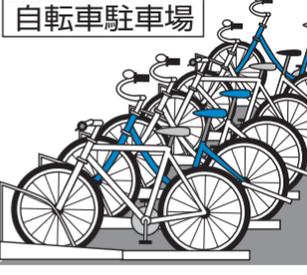
自由民主党大田区議団・区民連合 伊藤 和弘

〔放置自転車対策〕

◎区の考え方、今後の対策を伺う。
◎駐車場の整備、放置自転車の撤去、啓発の3つを柱としてきた。今後もこれらを基本とする。

◎鉄道事業者に対し、どのような話をしているのか。
◎事業者が、自ら駐車場の設置・経営、区営駐車場用地の提供、クリーンキャンペーンへの参加をするよう協力をお願いしている。

◎現状の対策を伺う。また、駐車を増やすだけでよいと考えているのか。
◎民営駐車場の設置助成、集客施設に駐車場の設置義務化、臨時駐輪場の設置、春・秋に放置自転車クリーンキャンペーン等を実施し



自転車駐車場

ている。18年度からはJR蒲田駅前と大森駅前に自転車指導員を配置する。さらに土・日曜日の撤去も行う。

◎自転車を利用している住民自身がマナーも含めてどのような対策が有効かを考えるべき。

◎対策に特効薬はないと考え、種々の対策に工夫を加えながら粘り強く活動を継続することが必要と考える。

◎子どもの安全対策
◎通学路の死角等危険箇所の把握をしているか。
◎すべての小学校で見直し点検を行い、問題があると報告のあったところは、すみやかに対処する。

◎公園の死角等危険箇所は把握しているか。
◎日常のパトロールで、危険箇所を把握し、死角を作り出す樹木のせん定、園内灯の照度アップ、物置等の撤去等の対策をとり、事件事故の防止に努める。

◎防災行政無線の5時の音楽を、冬は日が暮れる時間に合わせられないか。
◎災害時のための試験放送であり、時間帯の変更や新たな内容を付け加えるということはむずかしい。

◎街路灯の設置基準を伺う。暗いところには何らかの対策があるのか。
◎夜間、人の行動が見える程度以上を目標とし、18年度は照度不足箇所に146灯を補完する計画である。

◎こどもSOSの家は、玄関

傍聴をお待ちしております



議会活動にふれるもつとも身近な方法に傍聴があります。本会議の傍聴は11階の傍聴受付までおいで下さい。席は76席あります。その内訳は、いす席69席、車いす用スペース3席、親子席4席となっております。親子席はガラス張りで防音となっており、お子さま連れでも安心して傍聴ができます。なお、会議の様子は親子席内のスピーカーから聞こえます。

自由民主党大田区議団・区民連合 塩野目 正樹

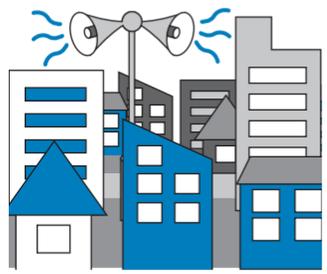
関の閉まった家よりも個人商店にお願いしてはどうか。
◎有効なことと考え、お願いしていく。

◎歩こう大会
◎サイクリングロードを歩く場面もあり危険である。コースの安全管理はどのように実施されているのか。

◎川沿いを歩く場合は、なるべくサイクリングロードを避けるコースを設定している。また、危険と思われる箇所に体育指導委員を配置し、安全に努めている。

◎歩こう大会は中高年の健康維持のためにも大変有意義だと考えるがいかがか。
◎最も身近な運動である歩くことを奨励し、それをきっかけとして体力に応じた適度な運動を行うことは大

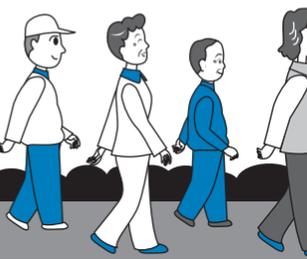
自由民主党大田区議団・区民連合 大森 昭彦



サイクリングロード

◎排水性の問題を含め拡幅整備についての考えを伺う。
◎堤防部分を拡幅し、自転車と歩行者が安全に通行できるように路面の排水性も十分配慮し整備する。

◎コースは区民の憩いの場と考えるがどうか。



変有意義であると考え。◎オリンピック招致も考え、空港跡地を含めた河川敷に対する将来構想を伺う。

◎オリンピック会場として適するかどうかは課題が多い。多摩川の河川敷は、区民に親しまれる潤い空間となるよう努力する。

◎貸付額は通常18万円以内、特例で45万円以内であるが金額の引き上げは考えられないか。
◎貸付額の増額は生活基盤の弱い世帯への過大な負担になるため、慎重な判断が必要である。

◎必要があれば非同居親族のことも理由に貸付をしてほしいと考えるがいかがか。
◎川沿いを歩く場合は、なるべくサイクリングロードを避けるコースを設定している。また、危険と思われる箇所に体育指導委員を配置し、安全に努めている。

◎保証人の住所要件の緩和を提案したいがいかがか。
◎連帯保証人は借受人と密接に連絡をとってもらい、滞納、未納時には返済いた

◎大田区議会議決
◎他都市では「割引制導入で件数が増えた」とある。稼働率を高めるため使用料の見直しが必要ではないか。
◎使用料は民間施設と比較し割安である。施設の性格上、割引はなじまない。

◎火葬待合室の稼働率が低い。待合室を式場に変更するなど有効利用する方法があるのでは。
◎待合室を利用しない小規模な葬儀もあり、稼働率が低い状態である。式場に変更するには、ひつぎを2階に上げるエレベーターの設置が必要になるなど課題もあり直ちにはむずかしい。

◎火葬炉、式場の増設計画はあるのか。
◎炉の増設は、当初から計画があり時期を検討する。式場の増設計画はない。

◎道路標識や案内板の増設はできないか。
◎標識は、平和島入口交差点から斎場までの道路上に5か所、平和島駅から斎場までの2か所に設置している。案内板は流通センター駅前にあるが、駅の先の交差点に1か所増設した。必要な場所があれば検討する。

◎大森北一丁目開発に伴うまちづくり
◎開発事業に伴い、駅からのアクセス、バリアフリーを考えているのか。
◎利用者の意見を参考にし、バリアフリーの手法となる施設づくりを目指す。駅からのルートも障害者団体、地域住民、商店街、企業の協力を得て、段差解消や点字ブロック設置等バリアフリーに努める。

◎大森駅東口広場に至る経路に下りのエスカレーターがない。地元も要望しており、高齢者や障害者のために設置が必要ではないか。
◎設置は機械スペース確保に伴う店舗面積の減少等の事情もあり、直ちに対応す

ることはむずかしい。可能性を研究する。



民主・自由・未来 犬伏 秀一

④職員の日休みは規則上45分だが慣例で1時間取得している。これだと労働時間が7時間45分になり不適切だ。退庁時間を15分延長し残業代を抑せよ。

⑤休憩の後に休憩時間を15分取得させている。早期に適切な対応をする。

⑥規則を教えるべき教員、それも管理職が、禁止されている車通勤を行っている。調査と通勤手当の返還を。

⑦通勤手当の返還も含め、厳正に対処し、全教職員のサービスの指導、調査をする。

⑧ヒューザーを刑事告発せよとの国土交通省の指示に応じないのはなぜか。

⑨法的な検討を十分に行い適切な対応をしていく。

⑩東横インの是正期限を国の指示より3か月延長し、



刑事告発しない理由は。前問と共に、何かあるのでは。必要な期間は認めなければならぬ。履行されない時は法的な手順で指導する。

大田区議会緑の党 野呂 恵子

〈障害者自立支援法〉

④障害者に区独自の減免措置を行うべきと考えるが。

⑤更なる減免制度は考えていない。

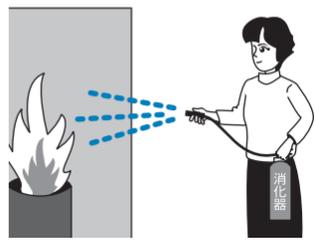
〈危機管理〉

④国民保護協議会に自衛隊員を加えるべきではないと考えるが。

⑤自衛隊もさまざまな機関のひとつとして位置づけ、参画を求めたい。

⑥地域防災計画には女性の視点をより多く盛り込み、人権が守られる計画にしてほしいと考えるが。

⑦問題点を明らかにして、次の地域防災計画にどのような形で盛り込めるか今後研究する。

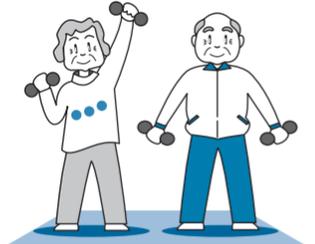


民主・自由・未来 田中 健

〈教育について〉

④キレる子ども対策としての「CPI研修」とは。

⑤「非暴力的危機介入法」の研修で、昨年末に講演会を実施した。18年度の教員研修として、夏期休業中に



4日間実施する予定である。④民間の力を借りた体系的な教育プログラムが必要と考えるが。

⑤各々の教員に応じた研修会の在り方を検討中。民間の研修プログラムの導入はコスト面も考慮し検討する。

⑥介護保険法改正

⑦各事業についての位置づけと具体的事業を伺う。

⑧予防事業は予防を目的とし、運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上プログラムを実施する。包括的支援事業は地域包括支援センターで相談事業等を行う。

⑨新予防給付の導入を踏まえ、地域包括支援センター職員のスキルアップ研修が急務であると考えるが。

⑩都の研修を受講している。日本共産党大田区議団 金子 悦子

〈障害者自立支援法〉

④利用者の負担は大幅に増える。区独自の減免制度を。

⑤現在のところ設ける考えはない。

⑥精神通院医療助成は課税世帯でも本人が非課税であれば対象にすべきだ。

⑦助成は考えていない。⑧審査会に障害認定に専門性を持った職員と障害者家族を配置すべき。

④身体障害者で専門的知識を有し、中立公平な判定ができる人を候補としている。

⑤地域活動支援センターにすぐに移行できない小規模作業所に財政的支援を。

⑥当面は補助を継続する。

⑦グループホーム建設のために区が土地を無償で貸すなど、サービスの基盤整備に本気で取り組むべき。

⑧グループホームは都が基盤整備をするが、区もかわり方を研究していく。

⑨通所介護の食費に区独自の助成制度を。

⑩区独自には考えていない。⑪17億円ある介護給付費準備基金で、保険料値上げ分9億円の半額4億5千万円を助成せよ。

⑫値上げを抑えるための取り崩しは考えていない。

⑬介護予防事業が始まり、サービスを受けられない介護難民が出ないよう対策を。

⑭居宅介護支援事業所に委託をしていく予定である。

日本共産党大田区議団 藤原 幸雄



日本共産党大田区議団 藤原 幸雄

〈羽田空港騒音問題〉

④「左旋回市街地上空飛行即時中止」区民大会の開催を提案する。区民全体の総意として、国、航空会社に

中止要求を行うべき。

⑤左旋回の即時廃止の決議文を羽田空港移転騒音対策連合協議会会長並びに役員が、国の飛行場部長に提出した。区民大会の開催は考えていないが、引き続き区民や議会の協力を得ながら粘り強く廃止を求めていく。

⑥航空機騒音の測定地域を広げてほしい。測定箇所を増やす考えはないか伺う。

⑦騒音は区が3か所、国が2か所で測定している。要望は国に伝える。

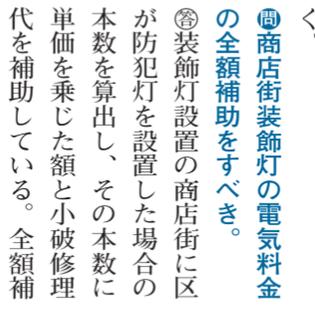
〈中小企業対策〉

④産業のまちにふさわしく工業会が中心となって行政の全面的支援で「おおたものづくり塾」の開校を提案する。

⑤大田工業連合会には技術指導講習会を委託し、新入社員セミナーや図面の見方講座など、対応できる範囲での実施をお願いしている。当面は現状でお願いしている。

⑥商店街装飾灯の電気料金の全額補助をすべき。

⑦装飾灯設置の商店街に区が防犯灯を設置した場合の本数を算出し、その本数に単価を乗じた額と小破修理代を補助している。全額補助は考えていない。



日本共産党大田区議団 藤原 幸雄

〈耐震強度偽装問題〉

④「グラントステージ池上」は、調査の結果、耐震強度が不足しているため、居住者の方々に自主退去をお願いしました。今後は、建て替えを早期に実現するためコンサルタントの派遣や仮住居の家賃助成などの支援を行います。

⑤「安全なまち」として民間住宅等の耐震対策やアスペクト対策、デジタル地域防災無線の設置等を進めます。第2の「安心して子育てができるまち」として、こども緊急連絡システム、小児も緊急連絡システム、小児初期救急医療体制の充実等を進めます。



西野区長 区長施政方針 演説(要旨)

内閣府による2月の月例経済報告で、景気は本格回復していると基調判断が上方修正されました。人口の減少など社会経済構造の変化も著しく、区政に及ぼす影響も見逃せません。創意と工夫と努力を重ね、区民との連携・協働により「安心・輝き・潤いのあるまちづくり」を進めます。産業分野では、旧南六郷土木事務所を再活用した新産業創造支援施設、旧北蒲小学校を再活用した産学連携施設を開設します。子育て分野では、仮称・千束第二保育園が、本年9月の開園を予定しています。

雇用創出分野では、76の施設に指定管理者制度を導入します。〈外部監査〉 「補助金の財務事務執行状況」と「財政援助団体の管理運営」について、ご意見をいただきました。適切に対処し、区民の信頼にこたえる区政を実現します。

真に必要な施策・事業を見極め、限られた財源を重点的・効果的に配分するという視点で予算編成を行いました。緊急施策の第1の「安全なまち」として民間住宅等の耐震対策やアスペクト対策、デジタル地域防災無線の設置等を進めます。第2の「安心して子育てができるまち」として、こども緊急連絡システム、小児も緊急連絡システム、小児初期救急医療体制の充実等を進めます。



野口委員長 教育委員会委員長 所信表明(要旨)

区では、現在推進している教育改革の成果を検証し、「新おおた教育推進プラン」の検討を進めています。今後の在り方としては次の二点が重要と考えます。 全ボランテニア制度などにより、ネットワークの形成に取り組みます。 また、総合的な学習の時間や読書活動などに地域の方々の参画を進めます。さ

動では、学習図書を充実し、調べ学習を進め、国語力を高め、思考力、感性、想像力を育てます。 また、善悪の判断、規範意識の向上のために他人を思いやる心、正しい判断力実践力を身につけさせます。さらに、健やかな体づくりのために学校、家庭、地域が一体となって子どもの基本的な生活習慣の確立を目指します。 全ての学校、全ての地域で、人間としての基礎・基本をしっかり身につけさせる教育の推進を図ります。

一点目は、保護者、地域の方々の参画のもとに、学校、家庭、地域が教育共同体として、一体となって教育を行うことです。このため、こどもSOSの家、安

らに保護者、地域の方々の意見が活かされるよう教育評価制度を確立します。 二点目は、「知、徳、体」とバランスよく育てるということです。まず、読書活

平成 18 年度

予算に対する各会派の意見



高瀬三徳委員長(中)
和田正子副委員長(左) 松本洋之副委員長(右)

平成 18 年度大田区一般会計
予算及び職員厚生資金・国民
健康保険事業・老人保健医療・
介護保険の各特別会計予算に
ついて、3月2日の本会議で
予算特別委員会（議長を除く
47委員で構成）を設置し、3
月14日から24日まで、実質8
日間にわたって集中的に審査
しました。

これら予算に対する各会派
の意見は次のとおりです。

なお、職員厚生資金特別会
計予算は全員一致で、その他
は賛成多数で可決されました。

ぬくもりが感じられる大田区政の実現を！

大田区議会公明党

日本経済は景気の回復を受けて、数
年来、ベースアップはゼロ回答であつ
たのが、今年の春闘は前年をわずかな
がら上回ったと報じられ、明るい兆し
が見られます。

公明党は18年度の予算特別委員会
で区民相談の中から様々な提案をいたし
ました。介護保険不正請求防止策を講
ずること、子どもの目線に立った事故
防止策をすること、JR大森駅に下り
のエスカレーターの設置を実現するこ
と、安心・安全なやさしいまちづくり
のために交通バリアフリーの推進、大
学入学時の支払い一時金の貸付制度の
創設、幼児教育センターの充実、英語
学習における小・中連携の推進など、
実現に向けて取り組んで頂くことを強
く要望いたします。

区民本位の行政運営を期待する

民主・自由・未来

民主・自由・未来は、平成18年度一
般会計予算ほか各特別会計予算に賛成
しました。

担軽減として、認証保育所の保育料補
助に加え、指定保育所利用者のための
補助が新設されました。また、これも
緊急連絡システムの導入、平日準夜小
児初期救急診療など、子育て支援策の
充実が図られたことは評価します。

18年度予算は、基幹財源である区税
収入が納税義務者の増加や定率減税の
縮小により増収が見込まれています。

国民健康保険事業特別会計では、保
険料収入が前年度比17億5、858万
円余の減となっており、さらなる徴収
努力を望みます。

区政の裁量の拡大により、将来におけ
る希望が膨らみます。一方、区民に対
する借金である特別区債の発行は、京
浜急行の連続立体交差事業や公園用地
購入などにしぼり、起債残高は過去10
年で最小の837億円となり、財政の
健全化に資することと評価します。

介護保険特別会計では、高齢者の自
立がより求められるため、サービスの
在り方も変化することが予想されます。
区民の声を十分考慮した運用をお願い
します。

災害に強いまちづくりを推進するた
めに民間住宅や都市施設の耐震対策に
積極的に取り組むとしており、期待し
ます。

本年度の予算を着実に執行し、区民
満足度を向上させるための行政運営を
期待します。

区民の期待に応える区政運営を

自由民主党大田区議団・区民連合

平成18年度一般会計予算ほか各特別
会計予算の全てに賛成致しました。

緊急施策で災害に強い安全なまちづ
くり支援として、建築物耐震診断調査
助成及び改修助成、橋梁の耐震補強、
民間耐震強度偽装建築物建替え及び入
居者支援、アスベスト対策、防災無線
のデジタル化等、安心して子育てがで
きる施設整備として、こども緊急連絡
システムの導入、平日準夜小児初期救
急診療の開始、こども医療費助成、保
育園の新築・改築、子育て世帯の負担
軽減助成、育児支援訪問、こども発達
センターわかばの家分館開設等、誰も
が安心して暮らせるまちとなるよう、
障害者施設、高齢者施設、駅のエレベ
ーター等の整備充実、学校の防犯設備の
設置、教室の冷房化、壁面や屋上緑化

の推進、産業支援施設の整備等、区民
の要望に応え、わが党の施策にも十分
な配慮がなされており、評価致します。

羽田空港拡張による国際線の乗り入
れに伴い、蒲蒲線等まちなみを整備し、
観光に力を入れ、区内産業、商店街、
中小零細企業の活性化の取り組みを進
めることを要望致します。今、東京都
がオリンピック誘致を打ち出している
この機会に、区としても東京、大田区
でオリンピックが開催されるように強
く働きかけるように望みます。

区政を運営していくにあたり、歳入
の確保に努め、経常経費や人件費など
の義務的経費をさらに削減し、スピー
ド重視、コスト意識を持ち、区民の皆
様の期待に十分に応えるまちづくりを
進めるように強く望みます。

この機会に、区としても東京、大田区
でオリンピックが開催されるように強
く働きかけるように望みます。

政府による国保、年金、介護保険、
諸税などの負担で区民は本当に大変で
す。障害者も自立支援法で生活直撃で
す。区民の所得が昨年より落ち込み、
生活保護者が1万1千人を超え、中小
商工業者の景気は良くなりません。

区は、職員減らし、民間委託でサー
ビスは後退、23区の中で大田の水準は
最低の水準です。生活習慣病健診は最

今年度の予算は、多くの区民が政府の
増税攻勢で、泣く泣く納める区税等が
昨年より120億円も増収です。その
税は区民のくらしや福祉に使うもので
す。しかし、そうせずに100億円余
も積立しています。この数年で積立額は5
00億円になりました。予算はその年
度に使うのが原則です。

なぜ区民の苦しみを救済しないのか
政府による国保、年金、介護保険、
諸税などの負担で区民は本当に大変で
す。障害者も自立支援法で生活直撃で
す。区民の所得が昨年より落ち込み、
生活保護者が1万1千人を超え、中小
商工業者の景気は良くなりません。

下位、介護保険料の独自支援をしない
2区のうち1区、障害者支援で負担軽減を
やらない4区のうち1区、図書館イ
ンターネット検索などは大田区だけ、
等々です。せめて他区並みが必要で
す。耐震偽装など不正事件が次々と大田で
職員減らしの中でグランドステージ
池上などの耐震偽装、東横インの違反
建築が発生し、テレビをにぎわせまし
た。ついにヒューザー関係の現職区議
までマスコミに載りました。

やるべきことは区民サービスの強化
必要な職員を充当し再発防止に、暮
らし福祉サービス重視の予算に、住ん
でいてよかつたといえる区に、高齢者、
障害者、子育てに、中小企業振興・も
のづくり常設展示会館建設など、施策
の強化が必要です。本予算に反対です。

区民の苦しみにほそつば 区民支援を後退 積立だけに傾斜

日本共産党大田区議団

ネット・無所属連合は平成18年度大
田区一般会計予算ほか全ての予算に賛
成しました。今後、三位一体の改革、
「定率減税廃止」などが、区財政や区
民生活に影響を及ぼしてきます。区政
運営にあたっては、これらへの適切な
対応が求められます。

単に国の制度に倣うことなく独自性を
出した区政運営を

ネット・無所属連合は平成18年度大
田区一般会計予算ほか全ての予算に賛
成しました。今後、三位一体の改革、
「定率減税廃止」などが、区財政や区
民生活に影響を及ぼしてきます。区政
運営にあたっては、これらへの適切な
対応が求められます。

単に国の制度に倣うことなく独自性を
出した区政運営を

介護保険については、地域包括支援
センターを拠点に高齢者自身や民間事
業者など区内各地の社会資源を育て、
それを最大限活用した運用を求めます。

障害者自立支援法が単なる自己負担
の制度化にならないよう、就労支援を
はじめ、障害者の地域生活を支えるた
めに必要な施策を求めます。

違反など、揺らぐ建築行政への信頼を
回復するための早急な対策を望みます。

区は十分な情報提供と説明責任を
十分なりリスクコミュニケーションの
もと、安心・安全に行われることを望
みます。また、建物解体時のアスベ
スト成形板の届出に事前調査書類添付を
一日も早く義務付け、チェック体制を
確立することを要望します。

既に行われている廃プラ焼却は区民
との合意形成が不明瞭です。区民への
十分な情報提供や、理解・合意形成を
得るための丁寧な説明が必要です。

学校・家庭・地域が連携し、命を大
切にする優しい子供を育ていくため、
必要に応じ教育推進プランの見直しを
考えながら取り組むことが必要です。

ネット・無所属連合は平成18年度大
田区一般会計予算ほか全ての予算に賛
成しました。今後、三位一体の改革、
「定率減税廃止」などが、区財政や区
民生活に影響を及ぼしてきます。区政
運営にあたっては、これらへの適切な
対応が求められます。

単に国の制度に倣うことなく独自性を
出した区政運営を

定例会で決まった議案

○は全会一致の議案
 △は賛成者多数の議案(各
 会派の態度は表のとおり)

区長提出議案

▼平成18年度予算
 △一般会計
 ◎職員厚生資金特別会計
 △国民健康保険事業特別会
 計

▽老人保健医療特別会計
 △介護保険特別会計
 ▼平成17年度補正予算
 △一般会計(第4次)
 ◎国民健康保険事業特別会
 計(第1次)
 △介護保険特別会計(第3
 次)

▽公有水面埋立事業特別会
 計(第1次)
 ▼条例の制定
 ◎大田区債権の管理に關す
 る条例
 (債権管理に關する事務処
 理を定める。)

◎大田区公有水面埋立事業
 条例の廃止
 (特別会計を廃止する。)

意見が異なった議案に対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対 退：退席

| 件名 | 会派名 | 結果 | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------------------|---------------------------|---------|-----------|----------|-----------|----------|------------|----------|-----------------|----|----|----|
| | | 無所属の会(3月22日結成) | 大田区議会新成 | 大田の未来を展ぐ会 | 大田区議会緑の党 | ネット・無所属連合 | 民主・自由・未来 | 日本共産党大田区議団 | 大田区議会公明党 | 自由民主党大田区議団・区民連合 | 結果 | | |
| 3月10日採決 | 補正予算 | 一般会計(第4次) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 介護保険特別会計(第3次) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 公有水面埋立事業特別会計(第1次) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 条例の制定 | 大田区国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区国民保護協議会条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 条例の一部改正 | 大田区用品調達基金条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 職員の給与に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区手数料条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区国民健康保険条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区立特別養護老人ホーム条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区立高齢者在宅サービスセンター条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区立下丸子作業所条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区立知的障害者援護施設条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区立新蒲田福祉センター条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | | 大田区立上池台障害者福祉会館条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 大田区私道整備助成条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | | |
| 大田区私道排水設備助成条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | | |
| 大田区職員定数条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | | |
| 3月28日採決 | 一般会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 国民健康保険事業特別会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 老人保健医療特別会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 介護保険特別会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 大田区介護保険条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 議案の提出 | 第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | | |

特別会計条例
 (特別会計を廃止する。)

▽大田区用品調達基金条例
 (基金を廃止する。)

◎大田区情報公開条例
 (開示制度の適用範囲を明確にする。)

◎職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例
 (適用範囲の適正化を図る。)

▽職員給与に関する条例
 (給料表、昇給の基準並びに期末手当及び勤勉手当の支給月数を改定する。)

◎職員の退職手当に関する条例
 (清掃職員の退職手当の身分切替に伴い改正する。)

▽大田区手数料条例
 (居宅介護サービス手数料等を新設し、食品製造業等許可申請手数料等の額を引き上げるほか、規定を整備する。)

◎大田区立生活センター条例
 (区の優先使用に関する規定を整備する。)

▽大田区国民健康保険条例
 (一般被保険者に係る基礎課額の保険料率並びに基礎課額に係る被保険者均等割額から減額する額を改定する。)

◎大田区産業のまちづくり条例
 (商店街活性化を支援する。)

◎大田区中小企業倒産防止共済掛金助成条例
 (共済契約を結ぶ相手方法人の名称変更に伴い規定を整備する。)

◎大田区立区民センター条例
 (区の優先使用に関する規定を整備し、管理委託に關する規定を削除する。)

◎大田区立田園調布富士見会館条例
 (区の優先使用に関する規定を整備し、管理委託に關する規定を削除する。)

◎大田区立特別養護老人ホーム条例
 (介護保険法改正による介護予防サービス事業新設に伴い規定を整備する。)

◎大田区立高齢者在宅サービスセンター条例
 (介護保険法改正による介護予防サービス事業、地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業新設に伴い規定を整備する。)

◎大田区立ライフコミュニティ西馬込条例
 (区の優先使用に関する規定を整備し、管理委託に關する規定を削除する。)

◎大田区立池上会館条例
 (区の優先使用に関する規定を整備し、管理委託に關する規定を削除する。)

◎大田区立山王会館条例
 (区の優先使用に関する規定を整備し、管理委託に關する規定を削除する。)

◎大田区立特別養護老人ホーム条例
 (介護保険法改正による介護予防サービス事業新設に伴い規定を整備する。)

◎大田区立特別養護老人ホーム条例
 (介護保険法改正による介護予防サービス事業新設に伴い規定を整備する。)

◎大田区立特別養護老人ホーム条例
 (介護保険法改正による介護予防サービス事業、地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業新設に伴い規定を整備する。)

◎大田区立特別工業地区建築条例
 (既存不適格建築物に対する制限を緩和する。)

(診療報酬の算定方法新設に伴い規定を整備する。)

協議

特別区人事及び厚生事務組合規約の一部を変更する規約

東京二十三区清掃協議会規約の一部を変更する規約

契約の締結

包括外部監査契約

平成18年4月1日から19年3月31日まで1、050万円を上限とする額で公認会計士と契約する。

工事請負契約

池上小学校外9校普通教室空調機械設備工事

赤松小学校外10校普通教室空調機械設備工事

大森第三小学校外9校普通教室空調機械設備工事

大森東中学校外9校普通教室空調機械設備工事

指定管理者の指定

産業連携支援施設

母子生活支援施設

コスモス苑(大洋社) ひまわり苑(同)

報告

区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分

多摩川清掃事業所所属ごみ収集車による交通事故

報告のみのもの

区立保育園における損傷事故

区道における負傷事故

工事請負契約の専決処分

耐震強度偽装問題に対する特別措置法の制定を求める意見書

第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

助役の選任

加藤忠夫

請願・陳情の結果

今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたもので結果の出たものを掲載しています。

区立小学校の南門へ何年もオートバイ等を放置するのを見て怒りの陳情

健康福祉委員会

緊急一時保護家庭委託制度見直しに関する陳情

子ども文教委員会

議員海外派遣の事前広報

都市整備委員会

江頭博彦

池藤紀芳

加藤忠夫

第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々が感動を分かち合うとともに、友好親善と相互理解を深めることにより、平和でよりよい世界の建設に貢献する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々が感動を分かち合うとともに、友好親善と相互理解を深めることにより、平和でよりよい世界の建設に貢献する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

保育の都加算事業を維持

議案運営委員会

江頭博彦

加藤忠夫

平成 18 年度予算のあらまし

平成 18 年度予算は、予算特別委員会で実質 8 日間にわたる集中審査を行い、いずれも原案どおり可決しました。

Table with 2 columns: Budget Category (e.g., Total Budget, General Account, Special Account) and Amount (e.g., 3,480 billion 9,636 million yen).

Table showing the change of the political party affiliation of Councilor Yukihiro Arimura (有川靖夫議員の所属会派の変更).

Table showing the change of the Chairman of the Life Industry Committee (生活産業委員長の変更).

耐震強度偽装問題に対する特別措置法の制定を求める意見書(要旨)

国は、耐震強度偽装問題に対する緊急措置として、分譲住宅に限り支援の実施を決定しました。周辺住民への影響は賃貸住宅も分譲住宅と同様であるにもかかわらず、危険な状態のまま放置されることが危惧されています。

区民合唱団員を募集します!

8月15日にアプリコで実施する平和祈念コンサートに出演する合唱団員を募集します。



- 対象: 小学生以上
合唱曲目: モーツァルト「レクイエム」より Ave Verum Corpus、フィンランディア、ほか
練習日: 4月26日～8月14日 20回 (主に水、土、日曜日)
練習場所: 池上会館ほか
費用: 4千円 (小中学・高校生は無料)
申込方法: 往復はがき。住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号、希望のパートを明記。5月19日必着
申込先: 大田区民平和祈念合唱団事務局
問合せ先: 議会事務局庶務係